

株式会社青葉防災

2023年度環境経営レポート

(対象期間 2023年08月～2024年07月 29期)



(発行日 2025年05月01日発行)

◇ ごあいさつ

弊社は、消防用設備・防災用品において危機管理を、通信設備では生活の利便性を通じて社会への一助を為すべきと日々研鑽にあたっています。

危機管理における「備える」ということでは、現行法規やモラルを基調としておりますが、地球環境保全と同様に、充足しているとは言えず対処治療を繰り返し現在にいたっている現状を踏まえ、枠に囚われないサービスと提案を常に心がけ広く地域・社会に貢献します。

株式会社青葉防災

代表取締役 水戸 幸宏

◇ 組織の概要

(1) . 事業所名及び代表者名

株式会社青葉防災
代表取締役社長 水戸 幸宏

(2) . 所在地

本社
〒227-0053
神奈川県横浜市青葉区さつきが丘4番地5
<http://www.aoba-bousai.co.jp>

(3) . 設立年月日

設立 平成7年8月25日

(4) . 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 倉垣 愛里
事務局 中根 瞳
連絡先 TEL045-979-3700/FAX045-971-3699
E-MAIL keisou@aoba-bousai.co.jp

(5) . 事業内容

消防用設備保守点検・工事
防災用品販売

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
資本金	万円	1,000	1,000	1,000
売上高	百万円	220	220	210
従業員	人	14	16	12
床面積	m ²	316.82	316.82	316.82

(6) . 事業年度

8月～7月

(7) . 過去の活動実績

		2020年度	2021年度	2022年度
CO2	電力	21034kw	20752kw	19748kw
	ガソリン	5356.67ℓ	5232.4ℓ	5551.2ℓ
事業系一般廃棄物 (単位：45L袋)		353袋	175袋	201袋

◇ 環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化が、人類共通の重要課題との認識にたち、消防用設備設計施工及び防災用品の販売事業を通じて、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<行動方針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水資源の削減
- ⑤ エコ消火器の拡販

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

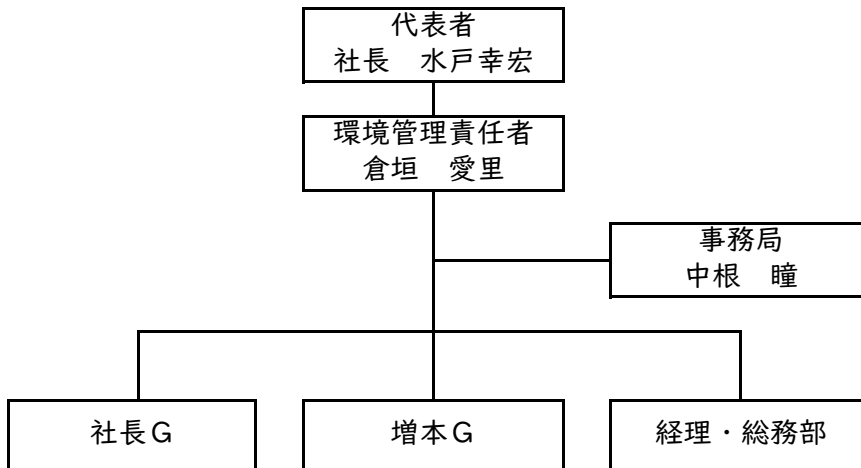
この環境方針は、全社員に周知しています。

制定日：2024年11月1日

株式会社青葉防災

代表取締役社長 水戸 幸宏

◇ エコアクション21実施体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用などを用意する ・環境管理責任者の任命 ・実施体制の構築と見直し ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境管理法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・「環境への負荷の自己チェック」及び ・「環境関連法規等の取りまとめ表」の作成 ・「環境関連法規等の取りまとめ表」に基づく順守状況評価の実施 ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連の外部とのコミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する環境教育・訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書の作成、テスト・訓練・記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

◇ 2023年度 環境経営目標

環境目標		基準年度 (2023年度)	2024年度 (2024/8~2025/7)	2025年度 (2025/8~2026/7)	2026年度 (2026/8~2027/7)
二酸化炭素 削減 (kg-Co2)	電力使用量の削減	19748kwh	2023年度目標に対し 1%削減	2023年度目標に対し 2%削減	2023年度目標に対し 3%削減
	ガソリン使用量の削減	5551.2ℓ	2023年度目標に対し、 1.5%削減	2023年度目標に対し、 1.75%削減	2023年度目標に対し、 2%削減
	二酸化炭素排出量	26,045.84kg-Co2	2023年度目標に対し、 1.5%削減	2023年度目標に対し、 1.75%削減	2023年度目標に対し、 2%削減
事業系一般廃棄物の削減 (単位:45ℓ袋)		184袋	2023年度目標に対し 1%削減	2023年度目標に対し 1.25%削減	2023年度目標に対し 1.5%削減
水使用量の削減		88m ³	2023年度目標に対し 0.5%削減	2023年度目標に対し 0.75%削減	2023年度目標に対し 1%削減
事務用品(紙)のグリーン購入		100%	グリーン購入率100%	グリーン購入率100%	グリーン購入率100%
エコ消火器の拡販		98%	エコ消火器販売率 100%	エコ消火器販売率 100%	エコ消火器販売率 100%

※産業廃棄物の削減は2024年度排出量を測定して2025年度以降削減目標を策定する。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.455(kg-CO₂/kwh)を採用

◇ 2023年度 環境経営計画

		具体的施策
二酸化炭素の削減	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼間不用時の消灯、電源OFF ・ 残業時間の削減 ・ エアコン温度、「夏28℃冬19℃」の表示
	ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコ運転を心掛ける ・ 燃費計算（車単位でガソリン補給量、走行距離の記録） ・ 制限速度の厳守 ・ アイドリングストップ
事業系一般廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄量の発生量を把握 ・ ペーパーレスを心がける ・ 誤発注をなくす
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道使用時にこまめに蛇口を閉め、節水 ・ 水量の使い分け
事務用品のグリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品（紙）購入の際の、エコ商品購入の徹底 ・ できるところはペーパーレス化
エコ消火器の拡販		<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火器販売の際、エコ消火器(アルテシモ)を販売促進

◇ 2023年度 環境経営計画の取組結果とその評価

	2023年度目標	実績	評価	
二酸化炭素の削減	電力使用量の削減	19748.00 kwh	20050.00 kwh	△
	ガソリン使用量の削減	5551.2 ℓ	5450.6 ℓ	○
	二酸化炭素排出量	26,045.84 kg-CO ₂	21,802.73kg-CO ₂	○
事業系一般廃棄物の削減 (可燃・不燃・廃プラ)	184袋	239袋	×	
水使用量の削減	88m ³	91m ³	○	
事務用品のグリーン購入	100.00%	100.00%	○	
エコ消火器の拡販	98%	98%	○	

※産業廃棄物の排出量：25kg

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.455 (kg-CO₂/kwh) を採用

○：達成が90%以上 △：達成が71～89%以上 ×：達成が70%以下

◇ 次年度の環境経営計画

- ・産業廃棄物排出量を測定して2025年度目標設定する
- ・ガソリン使用量は燃費による評価を検討する
- ・二酸化炭素排出量削減については継続
- ・事業系一般廃棄物の削減を心がける
- ・水使用量については前年実績の維持とする
- ・エコ消火器の拡販の目標を100%とする

◇ 達成状況に対する評価

- ・電気使用量について 退職者が出たことから前年より残業時間が増え、一人ひとりの社内にいる時間が長くなったことが考えられる。
- ・ガソリン使用量について 車内の不要な荷物を減らし、また無駄な移動時間発生しないよう効率の良いスケジュールを組むことを心掛けた。状況によって、一人一台使用していた車両を2人で使用していた。
- ・二酸化炭素排出量について 上記により二酸化炭素の排出量が減った。
- ・事業系一般廃棄物について 社員数は減少したが排出量が増加した。各自の環境に対する意識が薄れていることが見受けられる。
- ・水使用量の削減について 多少増加したが、前年実績の維持が出来ている。
- ・事務用品のグリーン購入について 継続して100%を維持できるよう努力する。
- ・エコ消火器の拡販について 今後も推奨していく。

◇ 代表者による全体評価と見直し

- ・ガソリン使用量は削減できたが、電気使用量と廃棄物については重要課題と取り組む。目標未達成の項目に対して社内全体で改善策を検討し次回達成に繋げる努力をする。

・変更の要否

- ①環境経営方針 なし
- ②環境経営目標 なし
- ③環境経営計画 なし
- ④環境経営システム なし
- ⑤実施体制 なし

◇ 環境関連法規への違反、訴訟の有無

2025年5月1日、遵守状況を評価の結果、
環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。

なお、苦情及び関係当局よりの違反等の指摘は過去3年ありません。

主な環境関連法規

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)

「消防法」(危険物取扱に係る部分のみ)

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)

以上